



令和4年4月1日

特集

町制施行50周年を迎えます!

町制施行50周年を迎えて

豊山町長 鈴木邦尚



昭和47年、町制施行により豊山町が誕生してから、今年で50周年を迎えます。この50年を振り返りますと、豊山町は名古屋空港を中心に都市整備が進み、着実に発展を遂げてまいりました。

昭和27年に国内定期路線が開設された名古屋空港は、平成17年に県営名古屋空港として新たに出発しました。現在は、フジドリームエアラインズが国内8路線に就航し、中部地域の空の玄関口として重要な役割を果たしています。

昭和58年には名古屋市中心卸売市場「北部市場」が開設され、平成13年には名古屋高速小牧線が開通するなど、周辺の都市整備も進んでまいりました。

空港周辺には、空港の県営化に合わせ、神明公園や航空館boonが整備され、また、平成29年にはあいち航空ミュージアムがオープンするなど、空港のまち、ヒコキのまちとして新たな賑わいも加わりました。

さらに、空港に隣接する三菱重工業やJAXA（宇宙航空研究開発機構）では、我が国の航空機産業の拠点として最新の航空機開発が進められています。

50周年の節目の年となる今年は、まだまだ新型コロナウイルスの先行きは見通せませんが、アフターコロナや将来の社

会の変化も見据えた取組も着実に進めてまいります。新たな時代を創造する飛躍の年として、愛知県の基幹的広域防災拠点にあわせた防災機能の強化や、豊山中学校をはじめとする施設の老朽化への対応など、将来を担う世代が10年、20年、50年たっても安心して過ごせることができるまちとして、さらなる発展に向けて努力してまいる所存です。

そして、50周年という節目の年を祝い、将来に続く継続的な町の発展や活力につなげるための基本的な考えとなる方針を定め、様々な記念事業を実施してまいります。

記念事業の実施にあたっては、町だけでなく、町民の皆様をはじめ、多くの方のご協力やご支援により実現するものです。記念事業をおして、町が歩んできた半世紀を振り返り、新たな「まち」の魅力を見出すきっかけになればと思っています。

また、記念事業を一過性のイベントで終わらせることなく、将来の世代が様々なかたちで継承し、発展させていくことで、豊山に対する愛着や誇りをさらに育む機会としてまいりますので、ご期待くださいますようお願いいたします。

基本理念

記念すべき節目の年をお祝いするとともに、将来へ続く継続的なまちの発展や活力につなげるため、基本的な考え方となる豊山町町制施行50周年記念事業基本方針を定め、事業を実施します。

町と町民が一体となって創り上げてきた功績などを見つめ直すことにより、まちの魅力を再発見・再認識し、本町への愛着や誇りを育む機会とします。

また、半世紀の歩みや軌跡を振り返るとともに、直面する課題に目を向け、次世代への礎を築くための契機となる事業の展開を図ることで、次の50年に向けた新たなまちづくりに取り組みます。記念事業の実施にあたっては、一過性のイベントに終わらない将来への第一歩となる取組や本町の未来に向けて考える機会となる形で実施します。

基本理念の実現を図るため、「ふれる」「つながる」「はばたく」をキーワードとした次の3項目を事業方針とします。

未来 醸成



●時代の継承

過去 → 現在 → 未来

●まちの魅力を醸成

発見・発掘 → 共有 → 醸成